

平井千里先生プロフィール



平井千里先生は女子栄養大学で博士(栄養学)を修了され、現在は小田原短期大学食物栄養学科で准教授として務められています。

体重コントロール時の栄養と頸動脈厚の関係について研究をされており、本研究所の附属施設である栄養クリニックが開催している「ヘルシーダイエットコース」の受講者を対象に、頸動脈壁厚とメタボリックシンドロームや動脈硬化の進展について研究されています。

主な論文:

- ・平井千里、石井由香、石塚陽子、蒲池桂子、田中明、香川靖雄. 2020. 頸動脈厚と栄養素摂取の関係について 報告1. 小田原短期大学紀要 (50), 35-41.
- ・平井千里、石井由香、石塚陽子、蒲池桂子、田中明、香川靖雄. 2015. ABCA1 遺伝子多型(rs2020927)の T/T 型を持つ者は減量によって糖代謝異常が改善しやすい. The Journal of Metabolism and Clinical Nutrition 18 (2)、235-245.

近年の研究テーマ

「頸動脈壁厚とメタボリックシンドロームおよび動脈硬化の関連」

肥満およびメタボリックシンドロームが生活習慣病に与える影響については広く社会に認知されていますが、生活習慣病が最も怖いのは動脈硬化症をはじめとする「血管への悪影響」です。これまでは血管の状態を調べるためには血液検査結果から算出した「動脈硬化指数」を用いていましたが、頸動脈は体表近くにあるためエコー(超音波)検査による診断が可能なため、頸動脈壁厚が動脈硬化のリスク指標として有効ではないかと考えています。

そこで、現在は女子栄養大学栄養科学研究所の附属機関である栄養クリニックが定期的開催している「ヘルシーダイエットコース」の受講者を対象に、エコー検査による頸動脈壁厚と身体計測値、血液検査結果、食事摂取状況などの調査結果との関連を調べることで、動脈硬化に影響をおよぼす「食のリスク因子」の洗い出しを目的と

した研究を行っています。この研究から生活習慣病予防への貢献が期待されています。

受賞歴

平成 19 年(2007 年)1 月 第 10 回 日本病態栄養学会学術集会 会長賞
受賞演題:「高比重アディポネクチンは血清インスリン濃度と負相関する」平井千里,
蒲池桂子, 工藤秀機, 香川靖雄

平成 19 年(2007 年)4 月 第 10 回 女子栄養大学 香川綾 奨励賞